

OPPO Find X3 Pro

OPG03

ご利用にあたっての注意事項

- ・本書では、OPPO Find X3 Proを「本製品」と表記します。
- ・本書に記載している「指定の充電用機器」は、同梱のACアダプター(試供品)またはau指定のものを指します。
- ・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

目次	ii
注意事項	1
本製品のご利用について	1
安全上のご注意(必ずお守りください)	4
材質一覧	19
取り扱い上のご注意	22
防水／防塵に関するご注意	30
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	35
各種暗証番号／PINコードについて	38
データ通信料についてのご注意	39
通話料についてのご注意	40
アプリケーションについて	40
アプリの権限を設定する	41
マナーも携帯する	42
付録	43
ソフトウェアを更新する	43
アフターサービス	45
FCC Statement for the USA	48
FCC RF Exposure Information	48
輸出管理規制	49
知的財産権について	50

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、次のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

『オンラインマニュアル』またはauホームページ掲載の『取扱説明書詳細版』の「故障とお考えになる前に」もあわせてご覧ください。

<https://www.au.com/online-manual/0pg03/>

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、5G／LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- ・海外をご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附隨的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。

- ・「取扱説明書 詳細版」、「クイックスタートガイド」、「ご利用にあたっての注意事項」(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショッップ／au Styleなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元：オウガ・ジャパン株式会社

製造元：Guangdong OPPO Mobile Telecommunications Corporation Ltd.



memo

- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

！危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
！警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
！注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード(SIMカード)、周辺機器共通

!**危険**


禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.30「防水／防塵に関するご注意」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.30「防水／防塵に関するご注意」



禁止

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む



分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解禁止



禁止

本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.30「防水／防塵に関するご注意」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

▶P.30「防水／防塵に関するご注意」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

禁止 火災、やけどなどの原因となります。

 ワイヤレス充電台（市販品）や本製品に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。

禁止 火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ワイヤレス充電台（市販品）と本製品の間に、金属製のもの（金属を含む材質のクリップなど）を置かないでください。

禁止 火災、やけど、けがなどの原因となります。

 ワイヤレス充電台（市販品）で充電する場合は、本製品に装着しているカバーなどは取り外してください。

指示 カバーの材質や厚み、本製品とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

指示 電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示 過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.30「防水／防塵に関するご注意」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

au ICカードトレイやSIM取出し用ピン(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品やアダプターの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触るとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。



禁止

フラッシュライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本製品内のau ICカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au ICカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

指示

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

指示

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。

指示

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。

指示

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

禁止

けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

禁止

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップ/au Styleなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

au ICカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端にご注意ください。

SIM取り出し用ピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について ▶P.19「材質一覧」



指示

本製品のレシーバー／スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告



指定の充電用機器やワイヤレス充電台（市販品）のコードが傷んだら使用しないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器やワイヤレス充電台（市販品）には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器やワイヤレス充電台（市販品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

禁止

発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレス充電台（市販品）で充電しないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手でUSB Type-C™データケーブル（試供品）のコードや充電端子、電源プラグ、ワイヤレス充電台（市販品）に触れないでください。

濡れ手禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能な指定の充電用機器: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USB Type-Cデータケーブル(試供品)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器を持って抜いてください。
USB Type-Cデータケーブル(試供品)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレス充電台(市販品)のご使用にあたって医師とよく相談してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

本製品にUSB Type-Cデータケーブル(試供品)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器に継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

■ au ICカード(SIMカード)について

⚠ 注意



指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近くおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ イヤホン(試供品)について

⚠ 警告



自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや動画・音楽再生に使用しないでください。

禁止 安全性を損ない事故の原因となります。

⚠ 注意



ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

指示 大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

⚠ 警告



SIM取り出し用ピン(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

禁止 本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意



指示 SIM取り出し用ピン(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について ▶P.19「材質一覧」



指示 SIM取り出し用ピン(試供品)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 保護ケース(試供品)について

⚠ 注意



禁止 保護ケース(試供品)に本製品を入れるときは、指を挟まな

いでください。

けがなどの原因となります。



指示 保護ケース(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場

合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹な

どが生じることがあります。

各箇所の材質について ▶P.19「材質一覧」

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ	強化ガラス	AFコート
外装ケース側面	アルミニウム、 PBT+40%GF	アルマイト処理
背面カバー	強化ガラス	印刷
カメラパネル	強化ガラス	AFコート
カメラリング	アルミニウム	アルマイト処理
カメラレンズ	プラスチック	コーティング
フラッシュライト	アクリル樹脂	—
レシーバー／スピーカー	PA+50%GF	真空ナノコーティング
電源ボタン／スクリーンロックボタン	アルミニウム	アルマイト処理
音量ボタン(上／下)	アルミニウム	アルマイト処理
au ICカードトレイ(外装部)	アルミニウム	アルマイト処理
au ICカードトレイ(カード取り付けのフレーム部)	PA+30%GF	—
au ICカードトレイ(パッキン部)	ゴム	—
USB Type-C接続端子(外部接続端子)(開口部)	PBT+40%GF	—
USB Type-C接続端子(外部接続端子)(金属部)	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
IMEIラベル、保護シート	ポリエチレンテレフタレート	ラミネート加工

■ ACアダプター(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
アダプター(外装ケース)	ポリカーボネート	－
電源プラグ(金属部)	銅	ニッケルメッキ
電源プラグ(絶縁部)	ポリカーボネート	－
USB端子(金属部)	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
USB端子(樹脂部)	ナイロン	－

■ USB Type-Cデータケーブル(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
USBプラグ(外装ケース)	TPE	－
USBプラグ(金属部)	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
USBプラグ(樹脂部)	PA10T	－
USB Type-Cプラグ(外装ケース)	TPE	－
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
USB Type-Cプラグ(樹脂部)	PA10T	－
ケーブル	TPE	－

■ イヤホン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン(外装ケース)	ポリカーボネート +ABS	－
イヤホン(金属メッシュ部)	ステンレス鋼	－
マイク(外装ケース)、操作ボタン	ABS	－
USB Type-Cプラグ(外装ケース)	ABS	－
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
ケーブル、アジャスター	TPE	－

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
SIM取り出し用ピン	ステンレス鋼	－

■ 保護ケース(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
保護ケース	TPU	—

■ 保護フィルム(試供品)(貼付け済み)

使用箇所	使用材質	表面処理
保護フィルム	TPU	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード（SIMカード）、周辺機器共通

- ・ 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- ・ 本製品の防水性能(IPX8、IP6X相当)を発揮するために、au ICカードトレイをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。
ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉じんなどの異物を浸入させたり、指定の充電用機器に液体をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでのau ICカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- ・ 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度0℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - OPPO Find X3 Pro本体
 - au ICカード(OPPO Find X3 Pro本体装着状態)
- ・ 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - 指定の充電用機器
 - USB Type-Cデータケーブル(試供品)
 - イヤホン(試供品)
 - 周辺機器
- ・ ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- ・ 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- ・充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ・腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- ・屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- ・必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- ・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- ・お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- ・外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- ・充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。
- ・自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- ・かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- ・指定の充電用機器や外部機器などを使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- ・カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- ・直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- ・本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- ・ 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップ／au Styleもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- ・ 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ・ ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク 」がau電話本体内で確認できるようになっております。

確認方法：ホーム画面で【設定】→【端末情報】→【認証情報】

本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- ・ 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ・ キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ・ ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- ・ 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- ・ 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 通常はau ICカードトレイを閉めた状態で使用してください。au ICカードトレイを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- ・ 本製品のau ICカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- ・砂浜などの上に直に置かないでください。レシーバー／スピーカー、メインマイク、サブマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ・タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたまでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたまでの操作
 - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作
- ・ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。また、本製品の指紋センサーはディスプレイに内蔵されているため、指紋の登録、認証ができない場合があります。
- ・ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 有機ELディスプレイについて

- ・有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。これは、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- ・有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- ・ 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- ・ 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- ・ 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップ／au Styleなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- ・ 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ・ 指定の充電用機器の電源コードをアダプター本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプターやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- ・ 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ 充電について

- ・ 指定の充電用機器またはワイヤレス充電台(市販品)を使用して充電してください。その他の充電器を使用すると、内蔵電池の漏液、発熱、火災を生じる場合があります。その他の充電器を使用して生じた事故や問題に対する責任につきましては一切負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 本製品にUSB Type-Cデータケーブル(試供品)を接続する際、うまく取り付けや接続ができない場合は、無理に行わないでください。
- ・ 指定の充電用機器を使用する際は、プラグ部分に電気を通すもの(金属類、鉛筆の芯など)が触れないように注意してコンセントに差し込んでください。感電、ショート、火災などの原因となります。
- ・ 指定の充電用機器はコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

- ・指定の充電用機器をコンセントに接続しているときは、引っ掛け
るなど強い衝撃を与えないでください。怪我や故障の原因と
なります。
- ・指定の充電用機器のプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが
ゆるかったりするときは使用しないでください。
- ・次のような場所での充電は控えてください。
 - 直射日光が当たっている場所
 - 湿度が高い場所、ほこりが多い場所、または強い振動がある場
所
 - テレビ、ラジオ、その他の電気機器の近く
- ・本製品は12時間以上充電しないでください。
- ・ACアダプター(試供品)とUSB Type-Cデータケーブル(試供品)
はVOOCによる急速充電に対応しています。VOOCによる急速
充電をする場合は、必ずACアダプター(試供品)とUSB Type-C
データケーブル(試供品)を利用して充電してください。

■ ワイヤレス充電について

- ・ワイヤレス充電台(市販品)や本体背面に、金属製のもの(金属を
含む材質のシールなど)を貼り付けないでください。故障の原因
となります。
- ・満充電付近において、充電完了前に充電が停止する場合があ
ります。
- ・充電完了前に充電が停止した場合は、充電をすぐに再開しない場
合があります。
- ・Qi規格対応製品によっては、充電開始・停止を繰り返す場合があ
ります。
- ・一定以上の温度となると、充電機能が停止したり、充電時間が長
くなったりする場合がありますが、異常ではありません。温度が
低下するまでお待ちください。
- ・安定した水平な場所に、ワイヤレス充電台(市販品)を置いて充電
してください。
- ・ワイヤレス充電時は、本体のバイブレータ機能をオフにしてく
ださい。本体が振動により動き、充電が完了できなかったり、落下し
たりするおそれがあります。
- ・充電する場合は、本製品に装着しているケース、カバー、フィル
ム、シールなどは取り外してください。
- ・ワイヤレス充電台(市販品)や本体が濡れていないか確認してく
ださい。
- ・本体に指定の充電用機器やUSB Type-Cデータケーブル(試供
品)を接続している状態でワイヤレス充電をしないでください。
- ・充電する本製品とワイヤレス充電に対応した機器同士を近づけ
ないでください。充電するau製品を正しく検出できず、充電でき
ない場合があります。
- ・テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどか
らなるべく離れた場所でご使用ください。
- ・Qi規格対応製品によっては、充電中に着信しない場合があ
ります。
- ・ワイヤレス充電時に本体のアプリケーションなどが動作すると、
充電完了しない場合があります。

- ・ ワイヤレス充電台(市販品)に置かれている間は、本体が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。
- ・ ワイヤレス充電台(市販品)で充電中、通信品質などの受信状態が悪くなることがあります。
- ・ 充電時は、ワイヤレス充電台(市販品)と本体を動かさないでください。
- ・ 充電完了後でも、本体を長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

- ・ au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ・ 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- ・ au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- ・ 変換アダプターを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- ・ カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ イヤホン(試供品)について

- ・ イヤホン(試供品)のケーブルを本製品に巻きつけないでください。また、イヤホン(試供品)のケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- ・ イヤホン(試供品)のプラグを本製品の外部接続端子から抜くときは、プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- ・ イヤホン(試供品)のプラグは本製品の外部接続端子に対してまっすぐ抜き差してください。
- ・ イヤホン(試供品)のプラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

- ・ SIM取り出し用ピン(試供品)を、トレイ取り出し用の穴以外の穴などに挿入しないでください。故障、破損の原因となります。
- ・ SIM取り出し用ピン(試供品)に無理な力がかかるないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- ・ 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。
- ・ SIM取り出し用ピン(試供品)は他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ 保護ケース(試供品)について

- ・保護ケース(試供品)が汚れた場合は清掃用アルコールをしみ込ませた布などで拭いてください。定期的にお手入れ(半年に1度程度)を行うことをおすすめいたします。
- ・保護ケース(試供品)に無理な力がかかるないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- ・廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。

■ 保護フィルム(試供品)(貼付け済み)について

- ・お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。
- ・廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。

■ カメラ機能について

- ・大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- ・撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- ・お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをする肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ・撮影したフォトなどをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ・ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵に関するご注意

- ・本製品はau ICカードトレイが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX8相当^{※1}の防水性能およびIP6X相当^{※2}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。
- ・正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。
※1 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
- ※2 IP6X相当とは、直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ・すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- ・au ICカードトレイをしっかりと閉じた状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- ・手や本製品が濡れている状態でのau ICカードトレイの開閉は絶対にしないでください。
- ・水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- ・砂浜などの上に直に置かないでください。レシーバー／スピーカー、メインマイク、サブマイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- ・水中で使用しないでください。
- ・お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- ・水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- ・レシーバー／スピーカー、メインマイク、サブマイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- ・耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- ・洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- ・湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- ・急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- ・本製品は水に浮きません。

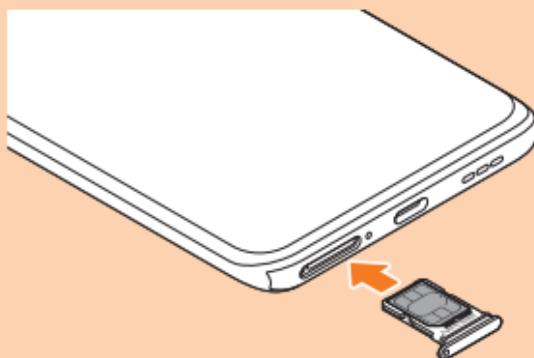
● au ICカードトレイについて

- ・au ICカードトレイはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- ・au ICカードトレイを取り外し、取り付けたりする際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを取り付ける際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- ・au ICカードトレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

au ICカードトレイの取り付けかた

図の向きでau ICカードスロットの奥までまっすぐ差し込んでください。

- ・au ICカードトレイの表裏を逆にすると、au ICカードが落下するおそれがあります。



● 水以外が付着した場合

- ・万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- ・やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5°C ~ 35°C)の水道水で洗えます。
- ・汚れた場合、ブラシなどは使用せずau ICカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

● 水に濡れた後は

- ・水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- ・寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- au ICカードトレイのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- au ICカードトレイを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- au ICカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップ/au Styleまでご連絡ください。

● 耐熱性について

- 熱湯に浸泡したり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えるたりしないでください。また、レシーバー/スピーカー、メインマイク、サブマイクなどをとがったものでつつかないでください。本製品が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- ・本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。
- ・濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- ・指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

- ・本製品を水に濡らした場合、必ずトレイ取り出し用の穴、レシーバー／スピーカー、メインマイク、サブマイク、外部接続端子、音量ボタン(上／下)、電源ボタン／スクリーンロックボタンの水抜きをしてください。
- ・そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
- ・下記手順で水抜きを行ってください。

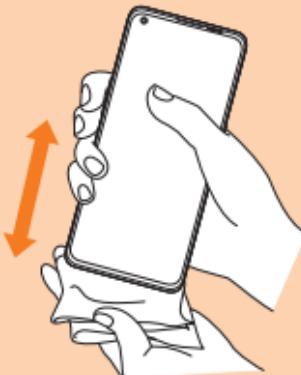
① 本製品に付着した水分を
乾いた清潔な布などによ
く拭き取ってください。



② 本製品をしっかりと持ち、
20回程度振り、上下の向
きを変えて同様に振って
ください。



③ トレイ取り出し用の穴、レシーバー／スピーカー、メインマイク、サブマイク、外部接続端子、音量ボタン(上／下)、電源ボタン／スクリーンロックボタンなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本製品を20回程度振るようにして押し当て、確実に拭き取ってください。



④ 本製品から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ・水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格に準拠し、認証を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能／無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11 b/g/n/ax

IEEE802.11 a/n/ac/ax

J52 W52 W53 W56

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショッップ／au Styleもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

- Bluetooth®機能 : 2.4FH4/XX8
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH4は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN (Wi-Fi®) 機能 : 2.4DS/OF4
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- [REDACTED] 2.4GHz全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く)。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52(5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)

W53(5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)

W56(5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力が必要になります。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショッピング/au Style・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへの加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※ 無線LAN(Wi-Fi[®])接続はデータ通信料はかかりません。

通話料についてのご注意

- 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなりたり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書 詳細版』、『クイックスタートガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』(本書)に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可」／「許可しない」などをタップしてください。

例：レコーダーを初めて起動した場合

1 ホーム画面で[ツール]→[レコーダー]

「デバイス内の写真やメディアへのアクセスを「レコーダー」に許可しますか？」の画面が表示されます。

2 [許可]

3 画面の指示に従って操作

memo

- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ 権限の設定を変更するには、ホーム画面で[設定]→[アプリ管理]→[アプリリスト]→設定を変更するアプリをタップ→[アプリの権限]→変更する権限をタップ→画面の指示に従って操作します。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 『取扱説明書 詳細版』、『ご利用にあたっての注意事項』(本書)では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

付録

ソフトウェアを更新する

■ ご利用上のご注意

- ・データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップ／au Styleもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、OPPO Find X3 Proをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なOPPO Find X3 Proをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップ／au Styleもしくはトヨタau取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
- ・海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 ホーム画面で【設定】→【ソフトウェアアップデート】→【アップデートを確認】
- 2 画面の指示に従って操作



- ◎ ご利用のWi-Fi®回線の状態によっては、利用可能なネットワークの自動検索を行い、Wi-Fi®からモバイルによる通信に切り替わることがあります。この場合、当初意図したものとは異なるデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- OPPO Find X3 Pro本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのOPPO Find X3 Pro本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
 - 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
- 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
- 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
- 出張による修理対応はお受けできません。
- 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

- ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップ／au Styleもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

FCC Statement for the USA

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.17 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.47 W/kg.

Body-worn Operation: This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the handset.

When using the wireless power sharing function, this device should be operate with a minimum distance of 20 cm between the device and your body.

The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID R9C-CPH2173.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、オウガ・ジャパン株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- OPPOは、Guangdong OPPO Mobile Telecommunications Corporation Ltd. © 2010 OPPOの登録商標です。All rights reserved.
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- NFCはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Qi」はワイヤレスパワーコンソーシアムの商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google カレンダー、Google カレンダー ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、YouTube Music、YouTube Music ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google 音声検索、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google フォト、Google フォト ロゴ、Google Duo、Google Duo ロゴ、Google Playムービー&TV ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google Pay、Google Pay ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google ニュース、Google ニュース ロゴ、Files ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, Inc.の商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc. の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合案内(通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 20:00 (年中無休)

au携帯電話から au携帯電話以外/一般電話から

局番なしの157番 **F1** 0077-7-111

上記の番号がご利用になれない場合、

下記の番号にお電話ください。(無料)

F1 0120-977-033

盗難・紛失・故障案内(通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

au携帯電話から au携帯電話以外/一般電話から

局番なしの113番 **F1** 0077-7-113

上記の番号がご利用になれない場合、

下記の番号にお電話ください。(無料)

F1 0120-925-314

故障紛失サポートセンター

(故障紛失サポート／安心サポートパック会員向けサービス)

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付

(通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 20:00 (年中無休)

au携帯電話/au携帯電話以外/一般電話から

F1 0120-925-919



! やめましょう、
歩きスマホ。

! キケン!
水ぬれ充電

満れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの
原因となり大変危険です。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、
貴重な資源を再利用するためにお客様が不
要となってお持ちになる電話機・電池・充
電器を、ブランド・メーカーを問わず^②
マークのあるお店で回収し、リサイクルを
行っています。

モバイルリサイクルネットワーク
モバイル・PHSのリサイクルにご協力を。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:オウガ・ジャパン株式会社

製造元:Guangdong OPPO Mobile Telecommunications
Corporation Ltd.

2021年5月第1版



5212614

V0.1

(管理用コード)